

## 冬期間の建物保全の注意点

～雪害防止に向けた対応～

例年を大きく上回る暑さだった夏がウソのように、昼間でも寒さを感じる季節となりました。冬になると”雪”が降り積もり、施設への障害が予想されます。支障がない状態を維持するためにも、適切な備え・対処が大切です。

### 冬期間のみ使用する設備点検

次の融雪設備がある場合は、シーズンイン点検と動作確認を行ってください。

- ・建物出入口までの動線確保を目的に敷地内の歩道や車椅子使用者用駐車場に整備する融雪設備
- ・屋根からの落雪防止・雪庇（せっぴ）防止等を目的とした融雪設備
- ・ルーフトレンの凍結防止を目的とした融雪設備

融雪設備が適切に作動しないと雪が積もります。事前に点検を行いましょう。



【駐車場の積雪】

### 樹木の積雪・落雪の対策

枝上に雪が溜まることで、枝が折れたりひどい時には倒木のおそれがあります。さらには落雪により来庁者や車両に被害が及ぶ事も考えられます。例年の積雪・落雪状況を確認し、樹木周囲に注意表示を設けたり、必要に応じて枝打ちや冬囲い等の対策を行って下さい。

### 積雪後の対処

積雪により、落雪障害、通行障害、施設設備への障害といった、他の季節には生じない障害が発生します。降雪、積雪状況を判断し、支障がない状態を維持しましょう。

#### ・頭上からの落雪（屋根、庇、樹木等）、雪庇

⇒落ちない、出来ないように取り除く事が重要です。

発生しやすい箇所を把握し、落雪箇所に人や物が寄らないように「コーン・ロープ・注意表示等」を事前に用意しましょう。

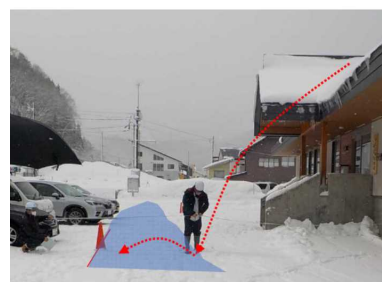
#### ・避難経路上の積雪

⇒通行不能にならないよう、除雪により避難に支障がない状態にしましょう。

#### ・設備機器周辺の積雪

⇒給排気口が塞がると、機器の正常な動作が保証できません。適宜除雪しましょう。

落雪のおそれあり！  
注意表示等が必要です。



【落雪の危険性】

これから冬本番となり、雪が降り積もる日が予想されます。施設保全担当者として今後とも適切な施設管理をお願いします。